

飯田に郷立大学を の夢を描き
母校に望遠鏡を贈った宮沢芳重さん

2014(平成26)年10月3日

卒業60周年記念同期会 記念講演

小塩 立吉

講演の始めに

1、私が宮沢芳重を知った切っ掛け

1) 1960(S35)年頃叔父宅を訪問時

- ニコヨンながら飯田大学の夢 図書館へ本を贈り続け!!
- 高松高校に望遠鏡を!!とお金を送つとる。偉いもんだぞ!!

2) 1996(H8)新校舎への建て替え時

完次叔父遺産からある金額を寄付→竣工式、新望遠鏡見学

3) 2012(H23)年法政大学高柳俊男先生と

- 夏期講習の国内研修準備調査中父禄郎、完次叔父の名前散見多
- 武蔵野市完次旧宅跡日本禁酒同盟事務所で面会(事務局長引継)
- 宮沢芳重と色濃く付き合い、正月の客多数回 大学構想討議
最期には遺言聞き取り。 資料を袋一杯保存発見。
- NHK「地蔵になった男」DVD 入手 法政大での上映会に参加。

2、2013 四伊那飯田の苦学偉人を南信州紙へ投稿

○潮田千勢子

幕末の飯田藩生 日本基督教婦人矯風会第三代会頭に
田中正造と共に足尾銅山鉍毒に立ち向かう

○宮沢 芳重

1898(M31)生 小卒、決意して上京物理学校予科へ

しかし、職を転々。飯田に大学をの夢を持ち続け!! ニゴヨン

○小塩 完次 宮沢芳重と密に交流 遺言も聞く。

1897(M30)飯中中退、検定で早稲田大、日本禁酒同盟理事長

世界連邦建設同盟副会長

○下平 三郎

1912(M43)駄科生 高小、検定東北大 金属研 名誉教授

金属腐食防食学権威 斯界の定本「腐食・防食の材料科学」

3. 叔父遺品中に宮沢芳重の資料沢山発見

叔父は一生の仕事として日本禁酒同盟を運営。長年の事務局長小塩政子が癌再発に倒れ、2011(H23)急遽私が引継いだ。

○ 宮沢芳重と同世代 1934(S9)に初面会。日記帳 50 冊余保存。

---世代、出身、苦学、粗食で理想を描き奉仕、東京の話し相手---

○ 大戦中 1942(S17)に同盟盟友が勤める白洋舎に職を紹介。

○ 戦後 1945(S20)焦土と化した東京で道義新生会で再会。

○ 1947(S22)から(S45)亡くなる直前まで少なとも 13 回自宅訪問。

パンの耳、残飯あしが困難な正月 元旦恒例の客 雑煮を共に

○ 大学構想検討、私信、関連公刊図書・資料多数。

○ 最期に速達葉書→叔父が訪問 遺言を聞き取る。

電報をもらい とよ子再訪。遺言再聴取と言い忘れ命令。

○ 芳重さん遺体を医学のため白菊会に献体。とよ子も献体決意。

1958(S33)10 都心の同盟事務所に突然訪問
---ニコヨン作業現場の昼休み 汚れた服を気に 直立不動---
「これでどうぞらのん」と差し出した紙切れには なんと

教育機構問題巡回講座（仮試案）

- ① 人間の目的は 何ぞ
- ② 真理探究 平和、世界連邦の相関
総合飯田大学構想と理念と必然性
- ③ 青少年純血育成の原理

これには、叔父も たじたじだったと述懐している。

(南信州紙 1958(S58)12.02)

宮沢芳重年表より抜粋

- 1920(T9)小卒 農耕 郵便配達 苦学を決意 勘当に近い上京
正則予備校等を経て物理学校予科入学
- 陸軍技本計算班、礼文島日食観測、五藤光学で収差計算、
物理学校で脳溢血。航空局技術部、叔父幹旋で白洋舎勤務
ほか諸々の職を転々、いずれも一年程で退職している。
- 1944(S19)年疎開 生田の生家全焼
- 生田長峰に小屋を建てる。生活は地域日雇い 生活困窮
- 1950(S25)文京区根津 1-19-13 転居する。
屋根大穴から街灯の光これで勉強した。この頃より失業対策事業
(254 円/日 ニコヨン)で口過ぎ、だが図書を購入飯田図書館へ
- 1952(S27)飯田高校への望遠鏡内金を渡す。飯田高校訪問
- S33 北原明治校長奔走 寄付金を募り第 1 世代望遠鏡落成。



1950(S25)年夏 左より宮沢芳重 52才、吉井信子、宮沢和夫

2013(H25)年 7月 法政大学ボアソナード棟で開催の「地蔵になった男」DVD 入手
上映・座談会時、出席の地域誌編集者山崎範子さん配布の「谷中千駄木」No.49
へ中央吉井信子さんが母の遺品として提供した貴重な写真。



文京区谷中千駄木の住まい 献体後松下 拓さん撮影。
松川町運営の facebook 「地蔵になった男」より

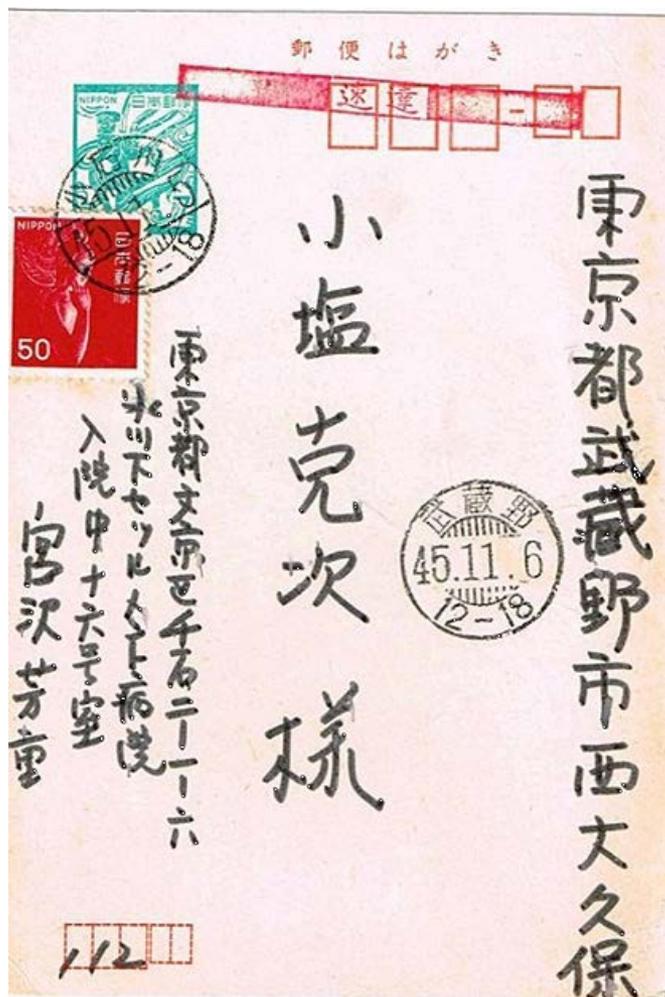
正月の客 松下芳重



1962 (S39) 01.01 完次宅
喜男、とよ子、洋(姪)、完次、芳重



1963 (S38) 01.01 完次宅
升平(甥)、完次、喜男、芳重、とよ子



今、セツルに入院中です。
 くれで多めに用事があり
 ますので、すぐ病院の方に
 キリッただけでしようか。
 おねがいます。
 もし、これなかったら電話でも下さ
 い。
 病院(九四四)九七四一。

宮沢芳重が小塩完次に急ぎ逢いたいと訴える速達葉書
 1970(S45).11.5 消印 看護婦代筆



宮沢芳重 墓所
長峰の宮沢家の墓地
法名 文英芳徳居士



芳重地蔵 生田東小
校庭山側に立ち 校庭の子
供達を見下ろす

三回忌に沢山の方の寄付を集め建立された。

この時 NHK が取材しテレビ放送

完次・とよ子夫妻が宮沢芳重を悼んで詠んだ和歌

病院の床で

青刈りの 頭はもはや 見えずなりぬ

淋しくもあらむ 我が家の元旦

生命は 終わると宣らし 芳重さ

白菊会への 手続き急ぎぬ

家を見舞って

錠前の 掛かれる戸口 ふと見れば

二三輪菊の 供えてありぬ

その本の 神田の店の 紙のまま

出できてそぞろ 君し俣ばゆ

とよ子が献体した芳重さんに捧げた和歌

生命を 終えたる友は 白菊の

花かざしつつ すすみゆきけり

大いなる 望みいだきて 友逝きぬ

後に続かん 白菊の花

16mm フイルム→NHK が DVD 化「地蔵になった男」
長沼節夫さんのご尽力で同席を条件に上映が可能となる。



2014 (H26) 4.29 松川町会場 NHK
が取材し「地蔵になった男」として
1973 (S48) 01.05 放送された。



1972 (S47) 11.26 芳重地蔵開眼・慰
霊祭に出席の 小塩完次・とよ子夫妻

4.飯田高校の第1、第2世代の望遠鏡

4-1 第0世代 宮沢芳重が愛用し町に寄贈した望遠鏡

今度の記念行事の際生田東小学校に展示されていた。
かつて天空を向け、近所の方々に星を見せていたと言う。



2014(H26)年4月29日生田東小学校に展示の0世代望遠鏡
口径 50mm 焦点距離 500mm 日本光学製屈折望遠鏡
奥村重実さんによれば、今でも覗けば立派に見えるという。

4-2 第1世代 宮沢芳重はどうしても飯田高校に望遠鏡を贈りたいと

1951(S26)年に既に五藤光学に頭金を払ったりしていた。

○北原明治校長は奔走、同窓会、各位に募金運動し実現した。



旧校舎屋上の天体ドーム

第1世代望遠鏡 口径 150mm 焦点距離 2250mm

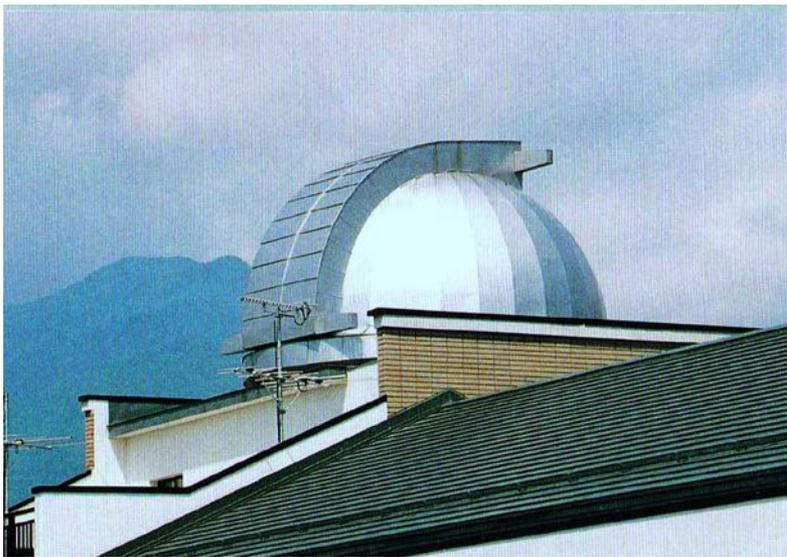
1958(S33)年 12月 26日 旧校舎に竣工 芳重さん出席

4-3 叔父は1992(平成4)死去。親族は宮沢芳重との交流を良く承知しており、飯田高校の新校舎建て替え新望遠鏡に遺産より

ある纏まったお金を寄付。



2000(H8)年 06月 仮校舎で寄付金目録贈呈
左より 木下比奈、小塩立吉、長坂好忠同窓会長、木下俊佐校長



第2世代天体ドーム
直径5m アストロ工業製



SA-400PW型カセグレン式天体望遠鏡



天体望遠鏡 (コンピュータ制御)

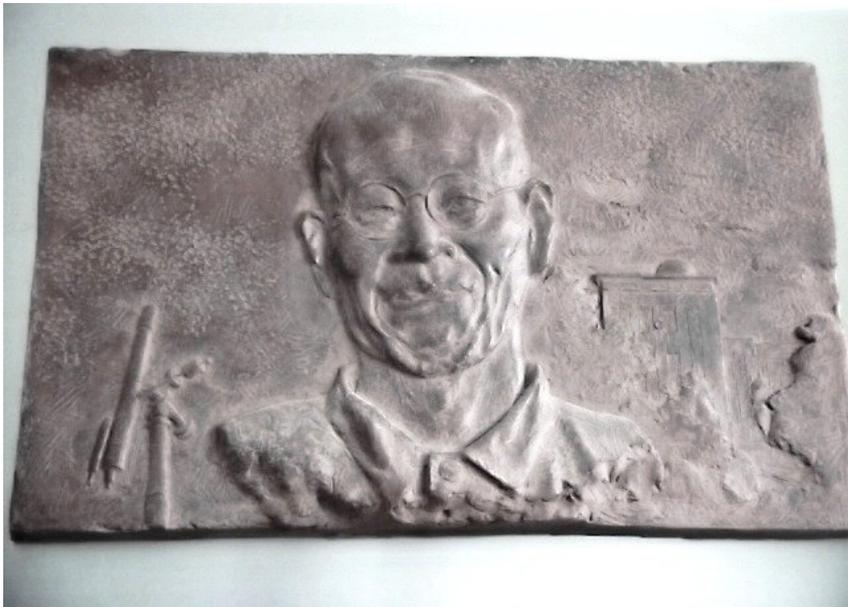
SA - 400DPW カセグレン望遠鏡

口径 400mm カセグレン焦点距離 6000mm ニュートン焦点 2000mm

架台 ドイツ式赤道儀方式愛知の旭精光研究所 (ASCO) 製造

パソコン制御で目標の星を自動導入し、軌道を自動追尾

1996(H8)10.12 新校舎竣工と同時に披露



望遠鏡室壁の宮沢芳重レリーフ

宮沢芳重氏顕彰プレート→

(二枚あり一枚は同窓会事務局保管)

宮沢芳重氏顕彰

宮沢芳重氏は1898年(明治31)松川町生田に生まれる。小学校卒業後農業に従事したが、向学の志おさえがたく、1918年(大正7)上京し、苦学力行の日々を重ね、1925年(大正14)東京物理学校(現理科大)予科を卒業する。

当時の日々とい労働の中で「飯田大学」創設という広大な考えを芽生えさせ、育て、それを生涯の悲願として買った。

1952年(昭和27)本校を訪れた氏は「郡立飯田大学」構想の考えを当時の校長に訴え、その実現化の第一歩として天体望遠鏡寄贈の趣旨を申し出た。

将来を洞察し、その理念を実現するために、浄財を地域に役立てる日々に徹した生活と信念は、社会の人々の大きな感動を呼び、ことさら生徒には限りない大きな夢を与えた。

当時としては最新式の6吋屈折赤道儀望遠鏡を備えた天文台が、北原明治校長はじめ学校職員・教育委員会・同窓会・PTA等多くの人々の協力を得て、全国の高等学校に先がけて屋上に完成した。時に1958年(昭和33)芳重氏60歳であった。

氏の活動はその後も休むことなく精力的に続けられたが、1970年(昭和45)11月27日、惜しまれながら72歳で現世の生涯を閉じた。

それから四半世紀、1996年(平成8)本校舎改築に伴い、時代にマッチした最新式天体望遠鏡の天文台が完成した。今もなお望遠鏡の彼方の星座を究めながら、ここに学ぶ生徒、そして郷里の人々の心に賑々と巨星「芳重」が生き続け、輝き続けることだろう。

氏の業績を顕彰するにあたり、同町出身の彫刻家 南島和也氏(高43)制作による肖像レリーフをここに掲げる。

2002年(平成14)6月16日

長野県飯田高等学校同窓会

5. 2014(H26)4.29～30 松川町・飯田市での記念行事
「地蔵になった男」上映・シンポジウム・見学会



松川町 facebook 『地蔵になった男』より画像コピー
この盛況は、生田東小開闢以来だったという。



出身地ならではのパネラー

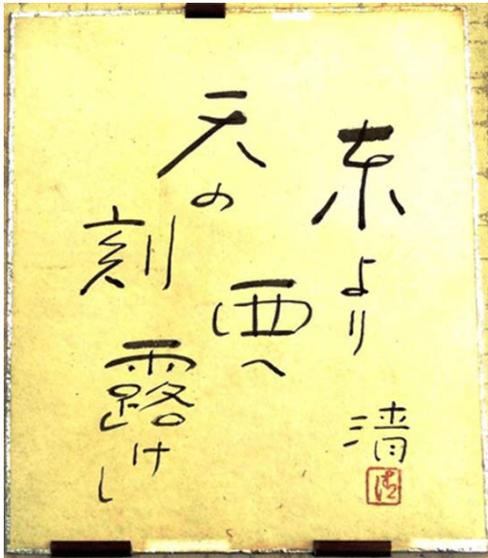
○宮沢正仁 93 才 根津の家訪問記などを語る。

◎ パンの耳を交互につまみ出しての夕食。腹一杯食べよう
一枚の掛け布団をぐるぐる巻いて寝る。

◎ 電車に乗らず歩き神田本屋街で航空力学と発動機の本を探し足が棒になる。

◎ 1939(S15) 芳重叔父は大東亜戦争開戦前に看破
空を制するものが勝ち、次は空間(space)即ち電気
(電波)を制する者が勝つ！！(レーダー、近接信管→→衛星)

奥村重実さん



下伊那で御月見天文同好会主催

第0世代 望遠鏡を試して 働くことを確認。

第1世代 玄関ロビーの望遠鏡の解説なども
対物・接眼レンズは乾燥容器に保管。

←簡潔に天と地の歩みを表現

和地清さん作
(竜丘村公民館長)

□ 天の刻は 東より西へ

□ 地の草木は 朝までに露を結ぶ (露けし)

下沢アサ子さん

生田東幼稚園にキャラメルを贈り、訪問した芳重さんを紹介。

高柳俊男教授

○ 2009(H21)国内研修の準備調査中に宮沢芳重を知った。

大学人として非常な感銘を受けた。いろいろ調査

○ 「地蔵になった男」document を知り上映に努む。今日は喜ばしい。

○ 生田東小が閉校になる先のことに、思いを寄せられた。

(2) n 自然数 $1 + \frac{1}{\sqrt{n}} > \sqrt[n]{n}$

(1) として $x = \frac{1}{\sqrt{n}}$ とおく

$$(1 + \frac{1}{\sqrt{n}})^n \geq 1 + n \cdot \frac{1}{\sqrt{n}} = 1 + \sqrt{n} > \sqrt{n}$$

$$\therefore 1 + \frac{1}{\sqrt{n}} > (\sqrt{n})^{\frac{1}{n}} = \sqrt[n]{n} \quad \therefore 1 + \frac{1}{\sqrt{n}} > \sqrt[n]{n}$$

(3) $\lim_{n \rightarrow \infty} \sqrt[n]{n}$ を求

(2) より $\sqrt[n]{n} < 1 + \frac{1}{\sqrt{n}}$

明かに $n \geq 1$ から $1 \leq \sqrt[n]{n} \therefore 1 \leq \sqrt[n]{n} < (1 + \frac{1}{\sqrt{n}})^n$

$$\therefore \lim_{n \rightarrow \infty} (1 + \frac{1}{\sqrt{n}})^n = 1 \quad \therefore \lim_{n \rightarrow \infty} \sqrt[n]{n} = 1$$

$|x| < 1$ $\frac{1}{|x|} > 1$ $\frac{1}{|x|} = 1+x$ ($x > 0$)

$$\frac{1}{|x|^n} = (1+x)^n \geq 1+n|x| \quad |x|^n \leq \frac{1}{1+n|x|} \quad 0 < |x|^n \leq \frac{1}{1+n|x|}$$

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{1+n|x|} = 0 \quad \therefore \lim_{n \rightarrow \infty} |x|^n = 0 \quad \lim_{n \rightarrow \infty} x^n = 0$$

$|x| < 1$ $\lim_{n \rightarrow \infty} n|x|^n = 0$ $\frac{1}{|x|} > 1$ $\frac{1}{|x|} = 1+h$

19. x の関数 $\sum_{k=1}^n (a^k - x)^2$ の最小値 M_n $\lim_{n \rightarrow \infty} M_n$ を求

$a \neq 1$ とす $f(x) = \sum_{k=1}^n (a^k - x)^2 = \sum_{k=1}^n (a^{2k} - 2a^k x + x^2)$

$$= \sum_{k=1}^n a^{2k} - 2 \left(\sum_{k=1}^n a^k \right) x + \left(\sum_{k=1}^n 1 \right) x^2 \quad \boxed{Ax^2 + Bx + C \text{ 形}}$$

$$= nx^2 - 2 \frac{a(1-a^n)}{1-a} x + \frac{a^2(1-a^{2n})}{1-a^2} = n \left\{ x^2 - 2 \frac{a(1-a^n)}{(1-a)n} x \right\} + \frac{a^2(1-a^{2n})}{1-a^2}$$

$$= n \left\{ x - \frac{a(1-a^n)}{(1-a)n} \right\}^2 - \frac{a^2(1-a^n)^2}{n(1-a)^2} + \frac{a^2(1-a^{2n})}{1-a^2}$$

$$\therefore M_n = -\frac{a^2(1-a^n)^2}{n(1-a)^2} + \frac{a^2(1-a^{2n})}{1-a^2}$$

(i) $|a| < 1$ とす $\lim_{n \rightarrow \infty} a^n = 0$ $\lim_{n \rightarrow \infty} a^{2n} = 0 \therefore \lim_{n \rightarrow \infty} M_n = \frac{a^2}{1-a^2}$

(ii) $|a| = 1$ $|a| > 1$ \triangle

$$\frac{(1-a^n)}{n} = \frac{1}{n} \{ 1 - 2a^n + a^{2n} \} = \frac{1}{n} - \frac{2a^n}{n} + \frac{a^{2n}}{n} = \frac{1}{n} - \frac{a^{2n}}{n} \left(\frac{2}{a^n} - 1 \right) \rightarrow +\infty$$

$\therefore \lim_{n \rightarrow \infty} M_n = \infty$

遺品を見て

楷書でビツシリ数式を

書いたノート

物理学校予科の頃であろうか、
几帳面に丁寧に級数の式が何
頁にもわたり、敬服の至り。

このノートの奥に「細菌学」の
ノートあり学習の深さ範囲に感激。

宮沢芳重 極貧に堪え研鑽と理想追求を何が支えたか

○ 腹の底の真底から分り合ってる仲、密に藏した熱と涙、秀麗な姿と魂の所有者たる俺が最愛最思の不二。宇宙の多様性の問題、雨に風に苦しみ働いた結果の笑こそ自然、神聖なる労働の結果なる穀物を獲て微笑む。本当に好きを「入」はいつ迄たつても「無盡の味」がある。自分の身になると又格別。有友自遠方來、何人に對しても、かけ隔てのない open heart、遠路の疲れを醫す田畝の小川の水風呂、畑から採り立ての新鮮な野菜と漬物。本質を知る上の、真理に對する謙虚良心の一道。私は只だ私自身私がほれほれするやうな人でありたい。(狄嶺)

○ 水はせかれてこそ深い味が出る。せきとめられてこそ淵瀨の静寂と奥幽しさがある。性を自らにせきとめるところのみ、青春の誇りも楽しさもある。我を我に拒む世界に本當の生活を味ふ。自分の中に何か一つの拒む世界を^{もつ}ほとんどの内面的な願をもつ。人間のはるかなる彼岸を内に見出し、そこにふるひ立つ力、拒み通せる力を見出す。拒むところのみ生活は充實と感激とを胎む。(圓諦)

- 「土と心を耕しつつ」を著し、マルクスを超えた農民と言われ、基督者として、来飯もしたことあり。江渡狄嶺の言葉をノートに抜き書き。
- 仏教学者浄土宗僧侶、真理運動を展開した友松圓諦の言葉抜き書き。これら先達の生活信条の実践ではなかったのではなかろうか？ こしお私見

6.4 月 30 日 飯田会場に出席



飯田美術博物館飯田会場の模様
左端前コーディネーター-伊沢宏爾教育長



パネラー小塩、吉沢香代子、羽場睦美、松下 拓の各氏

飯田天文同好会誌

The Stargazers

1962

No. 5 IIDA ASTRONOMICAL CLUB



魅力としての・無限・

宮 沢 素 渦

1. CANTORの天分と努力を以ってし、数により無限を規定構成するのが集合論の一章。但し之は概念の論理域に終始し直観的の明証に遠し。大野心を以って之が解明に攻学する学徒に、或は大未完は当分必然の様相ならんか。

12 飯田を山都から学都へ改脱する座標の原点，郡市立総合飯田大学の初発構想，文科・農科・理工科・医科・教育文化・運営の格率を自由性に置き，世界良心と科学の第一線を相補に，刻刻，刻新に眼睛を磨す。永遠に，更に，更に→永劫無限まで。

13 有限と無限は本性上，相互に反射鏡の機能に於て意味を創る。萬象の起生・活動，其普遍則の生動を此処にも確認して当にあるべくして在る，宇宙の弁証法的調和の原理を讃悟す。

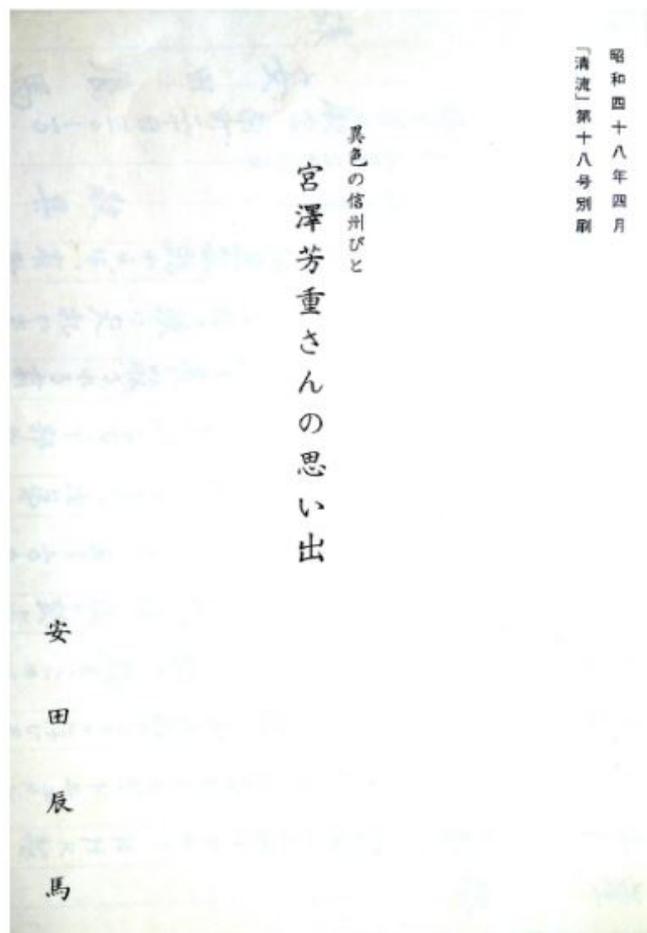
(1961.12.23.15)

1962(S38)飯田天文同好会誌に「魅力としての・無限・」を投稿
高尚難解ですが 12項に山都を飯田総合大学への脱皮の夢

週刊誌、中央、地方新聞に続々掲載される



週刊朝日 ほかの週刊誌にも

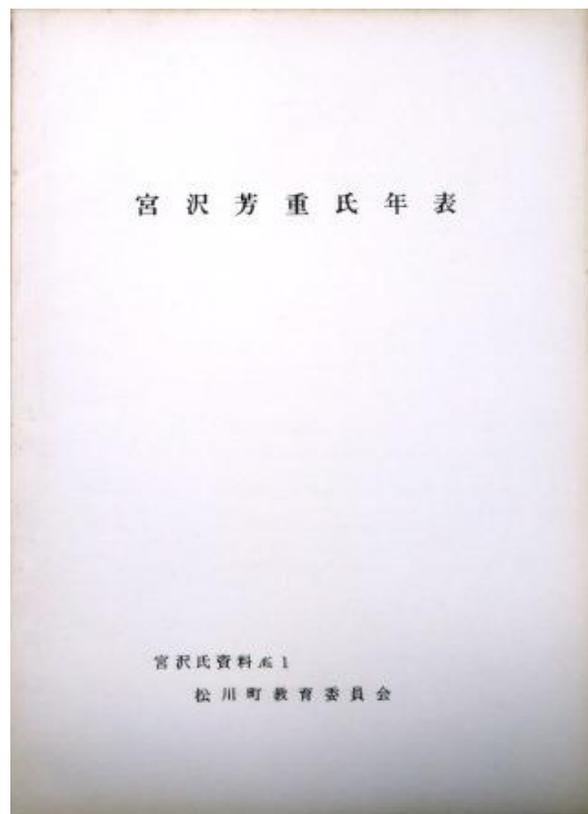


『人間 宮沢芳重』出版後「清流」などに

いずれも小塩完次資料館蔵

宮沢芳重の生涯を紹介する主な著書

飯田会場に展示

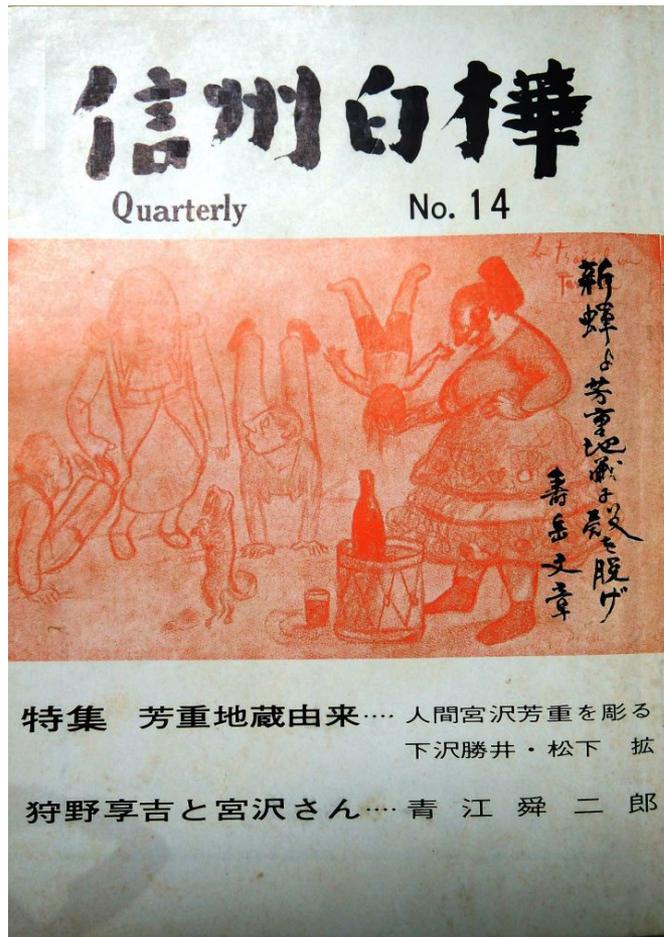


年表、氏の短文日記を収録
1972 (S47) 共に松川町教委



そ か
素 渦 は芳重の雅号

多数関係者の追悼文投稿と年表



- 1974(S48)「信州白樺」追悼特集号
- 芳蔵地蔵の由来
 - 狩野亨吉を語る青江舜二郎



- 1976(S48)松下 拡 下沢勝井著
 合同出版発行
 集大成とも言うべき力作
 本多勝一、池田寿一推薦文

学園飯田

第 3 号

- 趣 旨 2
- 総合飯田大学は酒代でできる 小 堀 完 次 3
- 飯田大学設立について 宮 沢 芳 重 5
- 後 記 8

1966(S41)より1~7号追悼号も
「学園飯田」下伊那教育機構連合
A4でガリ版印刷

伊那

1972. 3月号

考古学特集号

口絵 箱川原出土の有孔銚付土器..... 解説 木下平八郎 扉	箱川原遺跡B 発掘調査報告..... 佐藤 魁 信 3	飯田市前林地籍の考古資料..... 遮 那 真 周 10	古瀬平出土の土器..... 矢 口 忠 良 13	座光寺小学校所蔵の衝角付甕..... 遮 那 藤 麻 呂 16	妙前大塚古墳の遺掘り..... 北 村 重 実 18	昭和四六年度下伊那考古学年報..... 大 沢 和 夫 19	宮沢芳重さん..... 池 田 寿 一 23	伊那谷出版文化の足蹟..... 北 沢 小 太 郎 29	復刊信飛新聞より..... 下 平 加 賀 建 34
---------------------------------	-----------------------------	------------------------------	--------------------------	---------------------------------	----------------------------	--------------------------------	------------------------	------------------------------	----------------------------

昭和四十七年 三月号

伊 那 史 学 会

伊那五二六号第二〇卷第三号

昭和四十七年三月一日
復刊二二六号

1972(S47) 「伊那」
当時の図書館長池田寿一さん
が芳重追悼と秘話を執筆

飯田市立中央図書館に「宮沢文庫」1200 余冊



飯田大学 図書館
図書雑誌 目録正本

宮沢文庫の書架の一部
ほか関係資料 沢山収集

1960 秋 始発

1960(S35)年以來「宮沢文庫」目録発行
現在は電子ファイル化

狩野亨吉全集ほか 宮沢芳重は鈴木正氏に研究費を送り激励

今日はやや急なお求めでしたが、
宮沢芳重に関する講演をさせて頂きました。
つたない話をご静聴いただき 感謝します。

小塩 立吉

資料の主な出所は

1. 大部分は小塩完次記念館所蔵資料<全て飯田図書館蔵
2. 飯田市立中央図書館蔵書などの取材を合わせ 閲覧可
3. 2014年4月「芳重地蔵」DVD 上映会・シンポジウム
先の法政大学、松川町会場、飯田会場への出席と取材
4. 松川町 facebook「地蔵になった男」活用。関連 websites で照合。

お申し出で頂けば、本 PowerPoint 個別のファイルも差し上げます。

近く今度の実行委員会が音頭取りでこの度の記念行事の文集の発行が予定されています。